

2026年2月13日

各 位

会 社 名 ソニーフィナンシャルグループ株式会社
代 表 者 名 代表執行役社長 CEO 遠藤 俊英
(コード番号 8729 東証 プライム市場)
問い合わせ先 執行役員 財務部担当 佐井 拓実
(TEL: 03-5290-6500(代表))

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年11月14日に公表した2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)における当社グループの連結業績予想について、以下のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 日本基準に基づく2026年3月期連結業績予想数値の修正

(1) 修正内容

(単位: 百万円)

	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 纯 利 益	1 株 当 た り 当 期 纯 利 益
前回発表予想 (A)	122,000	82,000	11円47銭
今回修正予想 (B)	79,000	50,000	7円09銭
増減額 (B - A)	△43,000	△32,000	—
増減率 (%)	△35.2	△39.0	—
(参考)前期実績 (2025年3月期)	44,889	78,791	11円02銭

(注) 1. 「1株当たり当期純利益」の「前回発表予想」は、2025年11月14日に公表した「2026年3月期第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)」における、2025年9月末時点の発行済株式数及び自己株式数の状況を考慮した数値です。「1株当たり当期純利益」の「今回修正予想」は、2025年12月末時点の発行済株式数及び自己株式数の状況を考慮した数値です。

2. 当社は2025年8月8日付で普通株式435,100,266株につき7,149,358,214株の割合で株式分割を行いました。上記の1株当たり当期純利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 修正理由

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、ソニー生命保険株式会社(以下「ソニー生命」)において、ALM(資産・負債の総合管理)の考え方に基づくリバランスを目的とした債券売却を追加で実施することに伴う有価証券売却損の増加を見込むこと等から、前回発表予想と比較して下振れる見込みです。

2. 国際財務報告基準(以下「IFRS会計基準」)に基づく2026年3月期連結業績予想数値の修正

当社は、資本市場における国際的な財務情報の比較可能性の向上及び当社が重視する長期視点での経営に適した経営指標を示す観点から、IFRS会計基準に基づく連結業績を開示しております。

(1) 修正内容

(単位：百万円)

	営業収益	税引前利益	親会社株主に帰属する当期純利益	修正純利益
前回発表予想(A)	1,000,000	60,000	41,000	98,000
今回修正予想(B)	1,000,000	1,000	△500	94,000
増減額(B-A)	—	△59,000	△41,500	△4,000
増減率(%)	—	△98.3	—	△4.1
(参考)前期実績 (2025年3月期)	925,311	130,526	74,172	61,337

(注) 上記の修正純利益は、IFRS会計基準に準拠して作成した、当社グループの当期純利益から以下の調整項目を控除した数値となります。修正純利益は一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、当社グループ全体の投資とそのリターンの循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認することができると考えています。修正純利益の数値は、IFRS会計基準に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(ソニー生命)

- ① 投資損益のうち変額保険関連損益※1・為替差額(除くヘッジコスト相当分等※2)
- ② 保険金融損益のうち変額保険関連損益※3・為替差額
- ③ 有価証券の売却損益
- ④ その他一過性の損益

(当社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社、その他子会社)

- ① 一過性の損益

(※1) 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの。
(※2) ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定(FVO指定)した債券から生じる当期の経過利息(期首金利に基づく)を含む。
(※3) 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響。

(2) 修正理由

税引前利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、当第3四半期連結累計期間の業績に加えて、ソニー生命において、ALM(資産負債の総合管理)の考え方に基づくリバランスを目的とした債券売却を追加で実施することに伴う有価証券売却損の増加を見込むこと等から、前回発表予想と比較して下振れる見込みです。

修正純利益は、ソニー生命におけるIFRS会計基準に基づく保険負債の測定に関する前提条件の見直しにより、前回発表予想と比較して下振れる見込みです。

(注) 上記の各数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、
実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上